

## 三浦小学校

「コミュニティ・スクール」の力で「三浦小ならでは」の教育をつくる(EUSD・ふるさと・キャリア教育への挑戦)

校長 布 正人

### ◆はじめに

三浦小学校では、学校教育目標を「いつも 笑顔で元気で」とし、めざす児童像を「進んで学ぶ子・心豊かでたくましい子・地域が大好きな子」として、全校42名の児童と13名の教職員で歩みを進めています。

そして、今年度は「コミュニティ・スクール」として認定を受けた3年目、また、「高知県版地域学校協働本部事業」の指定も受けています。

もともと三浦小学校は地域とのつながりの強い学校です。その強みを活かして「コミュニティ・スクール」の力で、「EUSD・ふるさと・キャリア教育」への取組を通して「めざす児童像」を実現するための授業づくりを豊かに展開できる学校を作ります。

それでは、今年度の教育

活動の一端をご紹介します。

### ◆学力向上

#### ①授業改善

○学び合える学級づくり  
・なんといつても授業改善には学級づくりが欠かせません。共感的な人間関係を授業を通して育みます。  
○学ぶ意欲を感じ、思考を深め、伝え合う場面のある授業づくりを進めています。

#### ②読むことの充実

○いろいろな場面で読むこととの充実を図っています。(NIEへの取組・ICTの効果的な活用・ペア読書・読書ボランティアの活用など)



6年生よる1年生への読み聞かせ

#### ③基礎学力の定着

○組織的な加力学習の工夫・学力検査の活用・家庭学習の充実を進めています。  
・「忘れた頃に繰り返す」を徹底します。

4月に行われた標準学力調査の結果では、(昨年度の内容の定着度検査)ほぼ全国平均と同等かそれ以上の結果でした。しかし、弱い部分もあります。この結果を受けて、今年度も家庭の協力のもとに「家庭学習の徹底」、「読むことの徹底」、「帯タイム・放課後加力の充実」を「話の聞き方・真面目な作業・挨拶・時間を守る(はまあじ)取組」、「安心して学べる学級作り」の上に徹底して取り組んでいます。

### ◆絆づくり・仲間づくり

#### ①心の教育の充実

○あいさつ運動・がんばった朝会・縦割り班活動(作業を大切に作る)・児童会を中心とした活動(集会活動・みんなで遊ぶ日)・全校の心のつながりや上級生の活躍する場面を意識的に作り、全校の絆づくりや上級生を育てる取組を進めています。

#### ②豊かな体験活動と交流活動の推進による人づくり(コミュニティ・スクールの認定を活用して・EUSD・ふるさと・キャリア教育を通して)

○地域の人・もの・こと「産業・文化」の活用により、EUSD・ふるさと・キャリア教育を進め、地域を誇りに思い地域が大好きな児童の育成、「生きる力」を体感する場としての体験学習「生華園との交流(稲づくり・夏祭り・餅つき)」、「防災参観日」、「三世代交流」、「11月・みうら学びの月」の取組(家庭のルールづくり、家読の日)など、コミュニティ・スクールの力で、「三浦ならでは」の活動を計画・実践していきます。



三浦の夏祭り

### ◆健康・安全・体力づくり

○基本的に徒歩通学・朝運動・外遊びの奨励・基本的な生活習慣の確立・防災教育の充実

・雨の日も風の日も徒歩通学をする子どもたち。頭が下がります。参観日にも保護者の帰りを待つことなく、徒歩で帰ります。2時間目と3時間目の間の休み時間には元気に外で遊ぶ子どもたち、昼休みにはみんな遊ぶ日も計画されます。

防災教育に関しては、いろんな場面を想定し、年間十回以上の避難訓練。そんな中で、生きた防災教育を進めて行きます。今年度も、十月に防災参観日として、地域とともに避難所運営訓練に取り組みます。



遠足での避難訓練

※HPも随時更新中です。

## 伊与喜小学校

「未来に生きる力を身につけた児童の育成」

校長 川村 美香

### ◆はじめに

昭和17年に現在地へ校舎を建築落成されて、今年で76年目を向かえた伊与喜小学校舎、その門柱に古き歴史を感じることができる。伊与喜小学校の歴史は、それよりさらに古く、創立から今年で145年目を迎えており、本年度は、新生入生1人を迎え児童数15人で、完全複式の3学級、教職員6人でスタートしました。



門柱

学校教育に保護者および地域全体がとて協力的で温かく、学校・保護者・地域が三位一体となって、各種行事や学習などに取り組んでいます。

### ◆学校教育目標

『未来に生きる力を身につけた児童の育成』

重点目標に、

- ① 知・徳・体の調和のとれた教育の推進
- ② 自己表現力・コミュニケーション力の育成
- ③ ふるさと・キャリア教育の実践

### ◆目標達成に向けて

#### (伊与喜小学校の1日)

伊与喜小学校は、毎日の集団登校から始まります。学校に来て児童が最初にするのが、朝のボランティア活動です。自分のやることを自分で見つけ行います。校庭の草引きや花壇への水やり、落ち葉集めなどが主です。校内の場合、本の整理や教室内の整理整頓などを行っています。時期によっては、伊与喜駅へ置かせてもらっているプランターの花への水やりにも行きます。これらは、あくまでも自主的な活動で、この活動を通して、愛校心や進んで活動できる児童を育てていきたいと考えています。

午前中に5時間目まで授業を行います。完全複式なので、直接指導や間接指導を行いながら、自主性も含めて確かな学力の定着に向けた取組を進めています。3時間目終了後に業間運動も位置づけしており、遊具を使ったサーキットのほか一輪車やマラソン、縄跳びなどを行います。日常的な運動の場を設定し、継続していくことで、健康、体力の保持増進を図ります。給食の準備時や給食が早く終わった児童は、読書をして待ちます。そのため、学校図書館以外に教室や廊下、ランチルーム前などに図書コーナーを設けており、いつでもどこでも本を手に取り読書ができるよう図書環境を整備しています。昼休み終了後は、もくもく掃除となります。児童が少ないので、1年生からもう立派な戦力で、掃き掃除や雑巾がけ、トイレ掃除も任されます。縦割り班による掃除活動を通して、下級生は上級生から多くのことを学び、上級生は責任感とリーダー性が育まれる大切な場となっています。

6時間目が終わると、図書活動に入ります。全児童が本の交換および読書をする時間です。今年度より必読図書、チャレンジ読書以外に各学年に読書目標冊数を改めて設定し直し、学期ごとに評価活動も取り入れ、読書への関心・意欲づけを図っています。帰りの会が終了した学級から、放課後学習の始まりです。3カ所にわかれて、30分間問題に取り組みます。これも、自主的活動の位置づけで、個々に合った速さで、問題に向き合っています。今年度から、算数だけでなく国語にも取組を広げ、学力向上に向けた、基礎学力の定着を図る時間になっています。

集団下校前には、全員が児童玄関に集合して挨拶を交わし、職員は児童を見送って、1日の学校生活が終了となります。児童が毎日笑顔で、「今日も一日楽しかったね」、「明日も早く学校に行きたい」と思える学校であるよう、今後も職員が一丸となって、取組を進めていきます。

◆おわりに  
今年度より、全児童による話し合い活動を積極的に取り入れています。学年の枠を超えて主体的・協働的な活動場を増やすことで、集団の中での表現する力や思いやりの心、伊与喜家の絆を育むよう、今後も、取組を進めていきたいと考えています。



秋の運動会に向けて地域の方との作業風景